

 (東証1部 : 6848)

2020年度 1Q
(2021年3月期 第1四半期)
決算補足説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2020年7月

■ 売上高：国内外において減収

(国内) 官公需は例年並みも、民需の低迷を受け減収

(海外) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い営業活動が制限を受け減収

■ 利益：原価・経費の低減効果により増益

☞ 単月黒字化 **130か月** 連続記録更新中 (2009年9月から10年10か月)

(単位:百万円)

	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	3,333	3,133	△200	△6.0%
営業利益 売上高比	147 4.4%	189 6.0%	42	28.6%
経常利益 売上高比	168 5.1%	201 6.4%	33	19.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	57	118	61	106.4%

計測機器事業（減収・増益）

売上高3,068百万円（6.1%減）、セグメント利益323百万円（11.0%増）

- 国内売上高：全体として減収
 - ① 環境・プロセス分析機器：官公庁向けは例年並みの売上を確保したものの、民間企業向けの基本プロセス分析計や環境用水質分析計の販売が減少
 - ② 科学分析機器：ポータブル分析計は研究機関向け売上が減少
医療関連機器の販売は順調
 - ③ 電極・標準液、保守・修理及び部品・その他：
点検の延期などにより、保守・修理及び部品・その他の売上高が減少したものの、電極・標準液の販売は増加し、アフタービジネス全体の売上は微増
- 海外売上高：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により営業活動が大きく制限を受け減収
- 利益：原価低減・経費削減に加え、コロナ禍に伴う営業活動の制限で経費が抑制され増益

不動産賃貸事業（減収・減益）

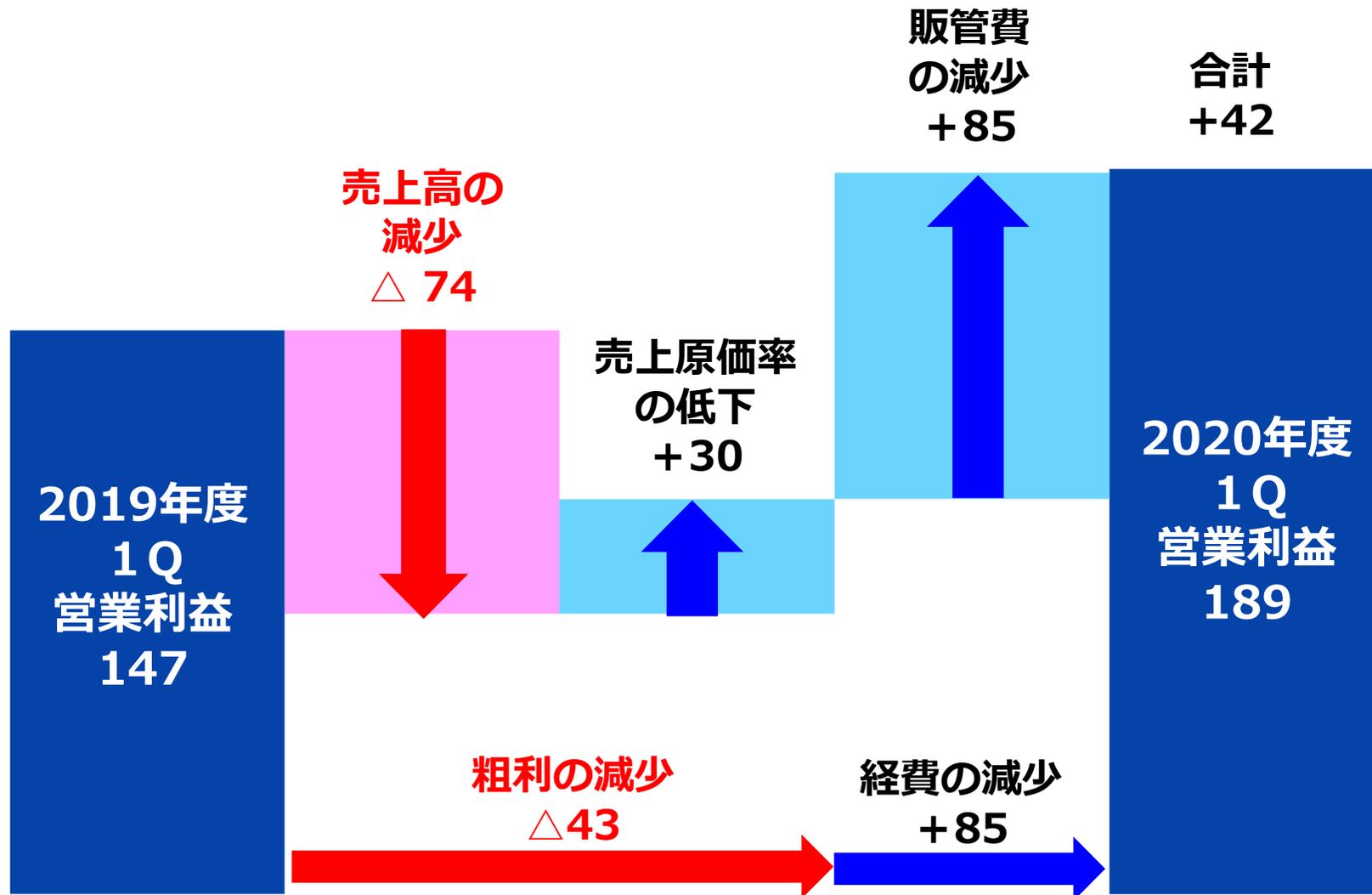
売上高64百万円（2.1%減）、セグメント利益41百万円（1.0%減）

- 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

営業利益の増減分析



(単位:百万円)

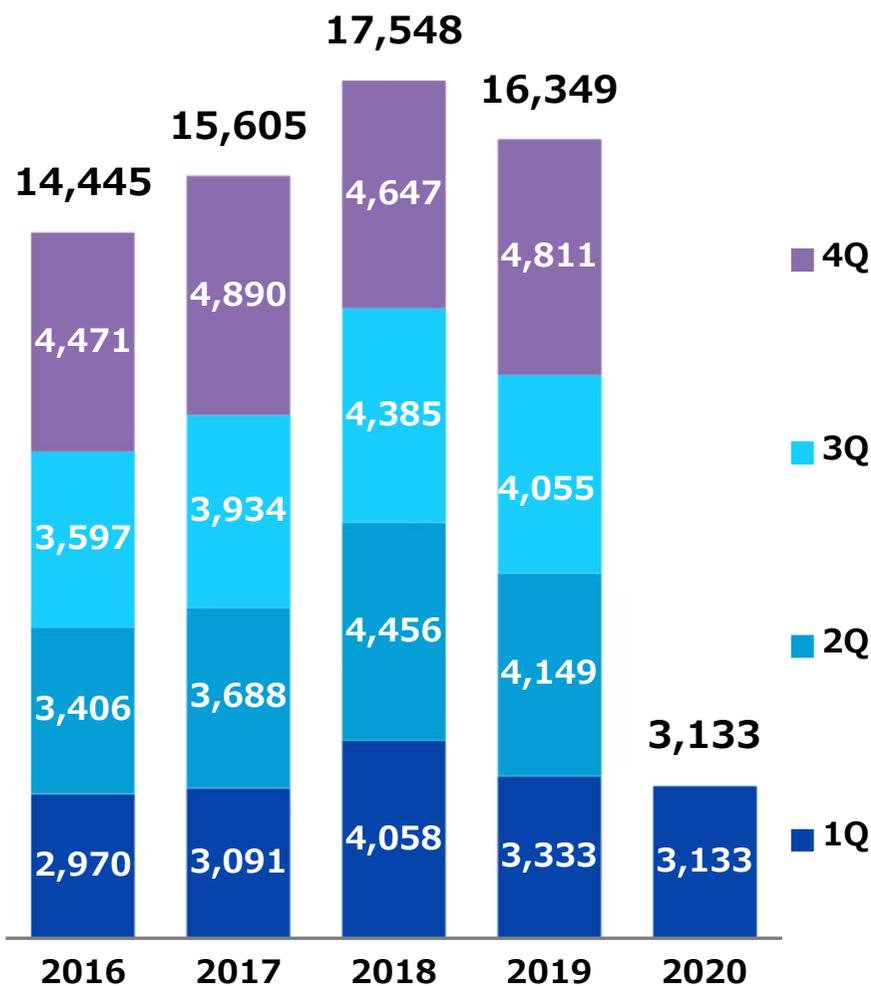


売上高・営業利益推移

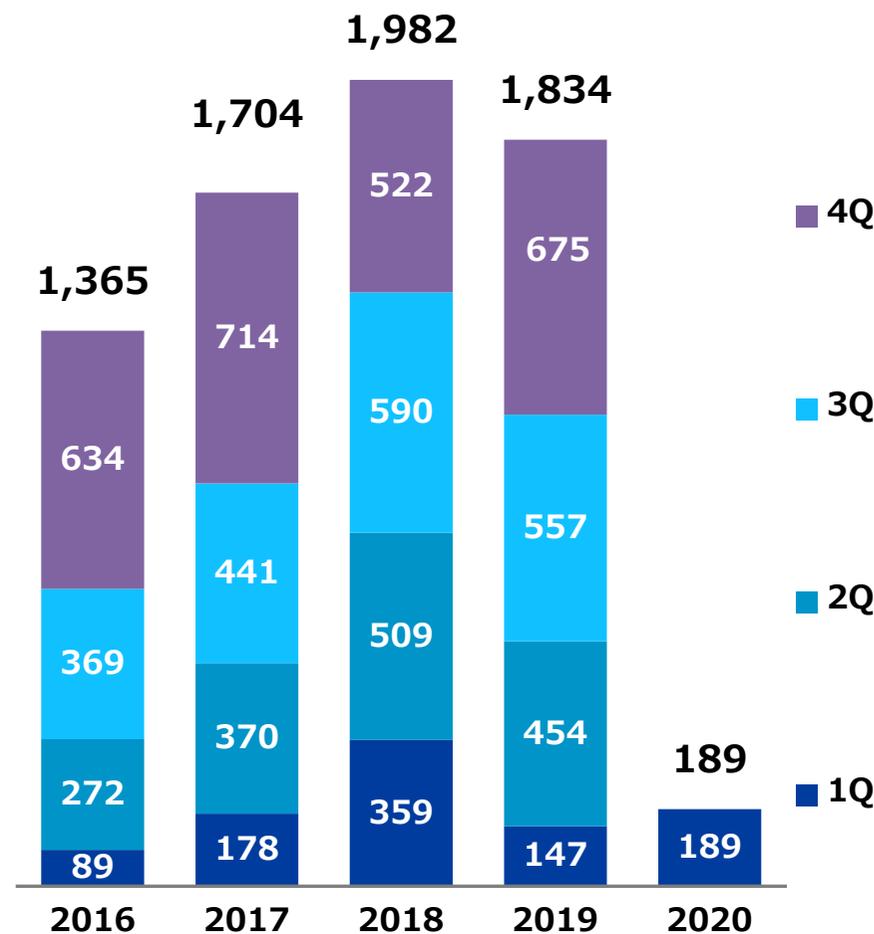


(単位:百万円)

売上高



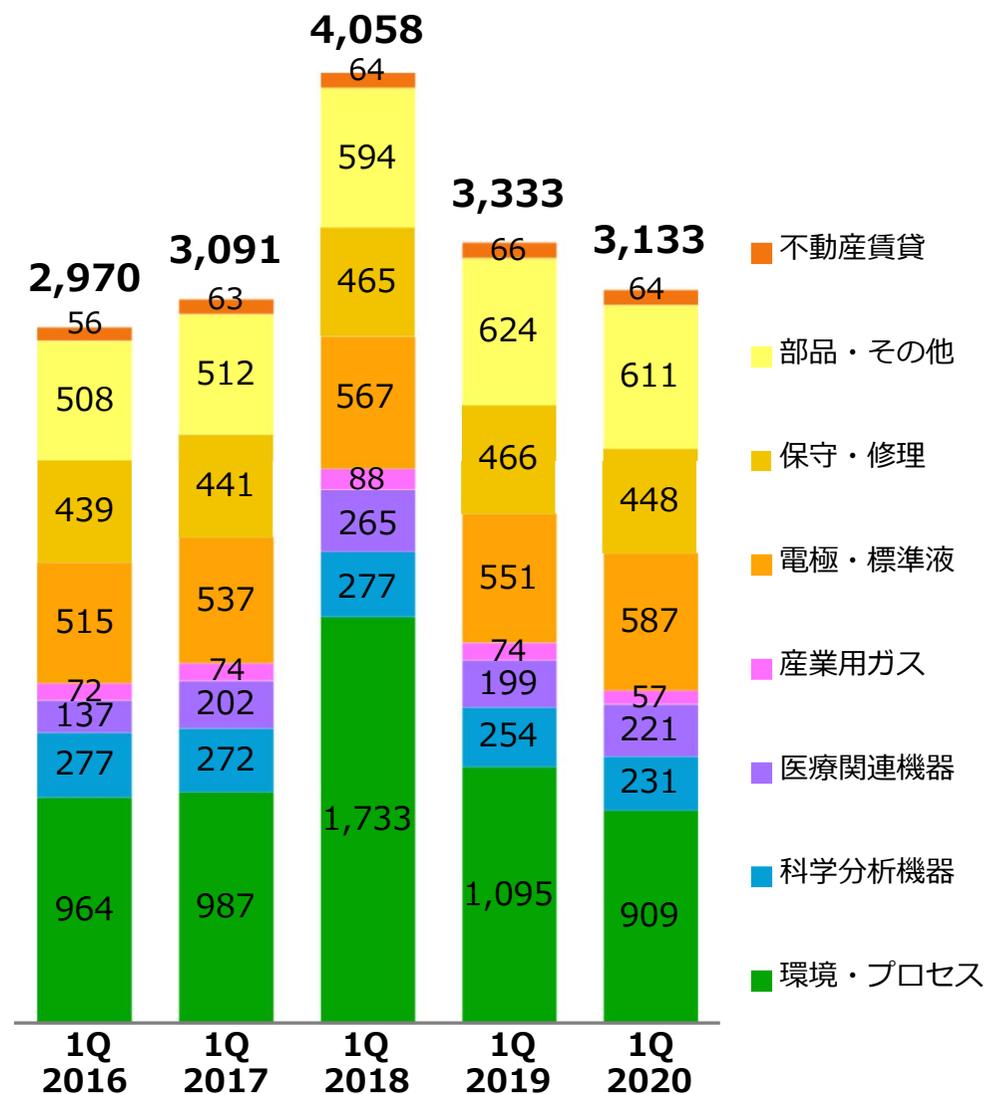
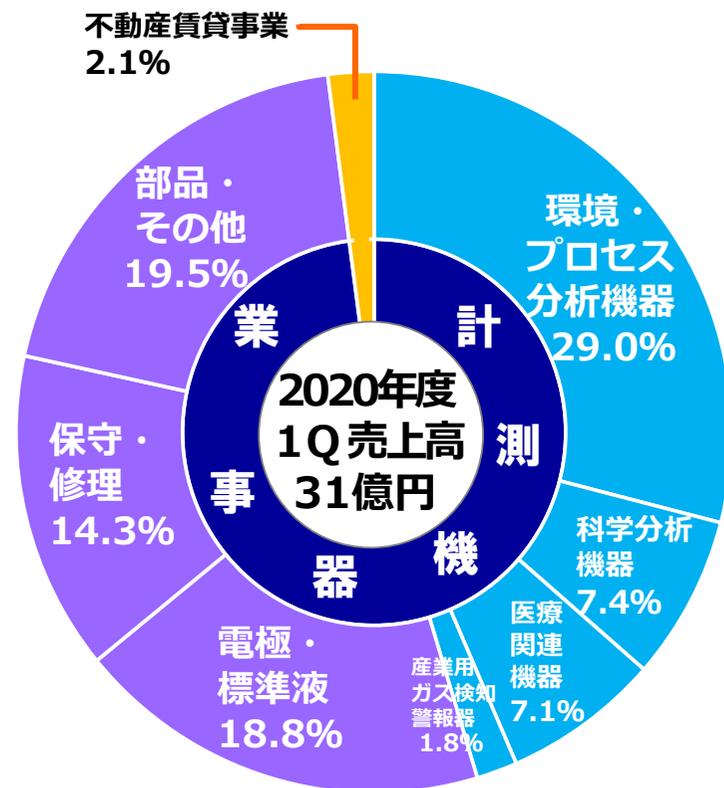
営業利益



分野別構成比と売上高推移



(単位:百万円)

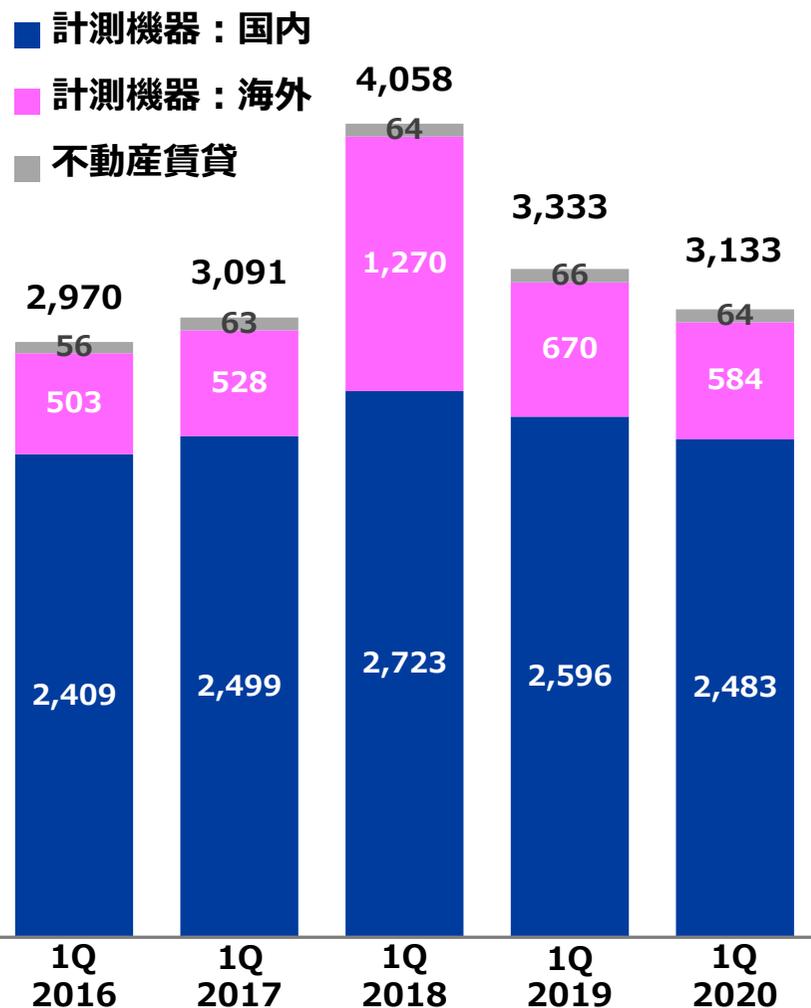


国別売上高推移

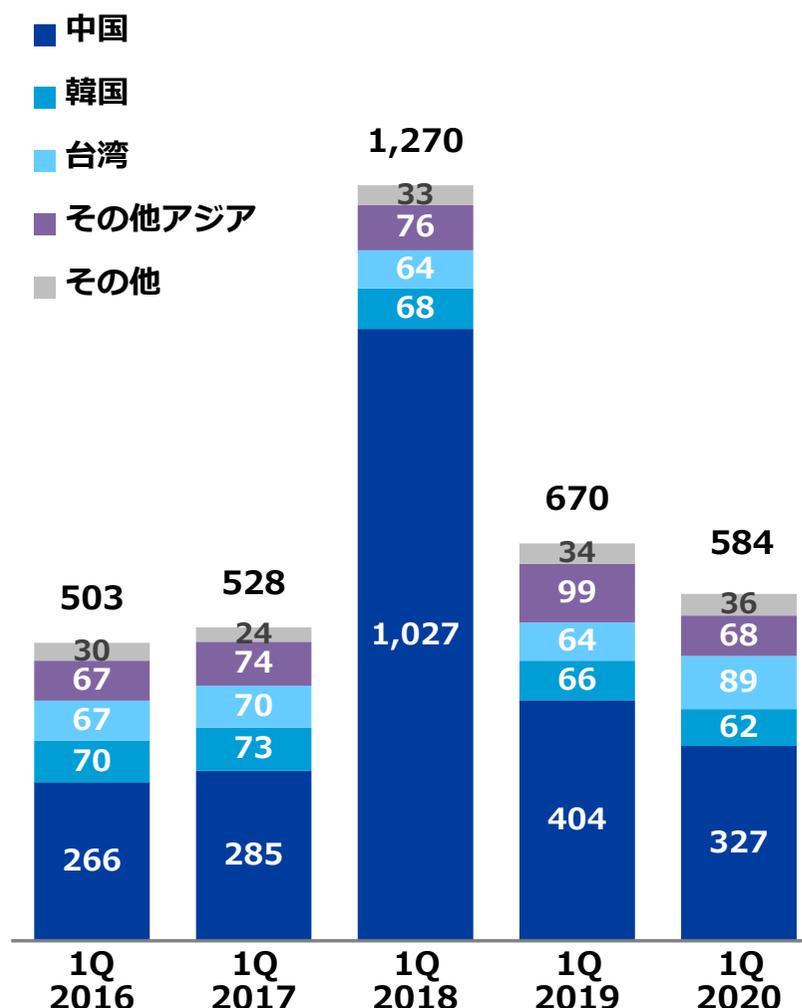


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
また、諸比率は円単位で算出の上、小数点第2位を四捨五入しております。そのため合計値が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社

経営戦略部 経営企画課

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：http://www.toadkk.co.jp/